ペルセウスシールドの施工

金本貴志*
瀬戸信二*
加藤栄二郎*

要　旨

現代情報化社会における脅威として，人知れず情報を奪う目的の電磁波盗聴と情報破壊を目的とした電磁波攻撃が問題となっている。

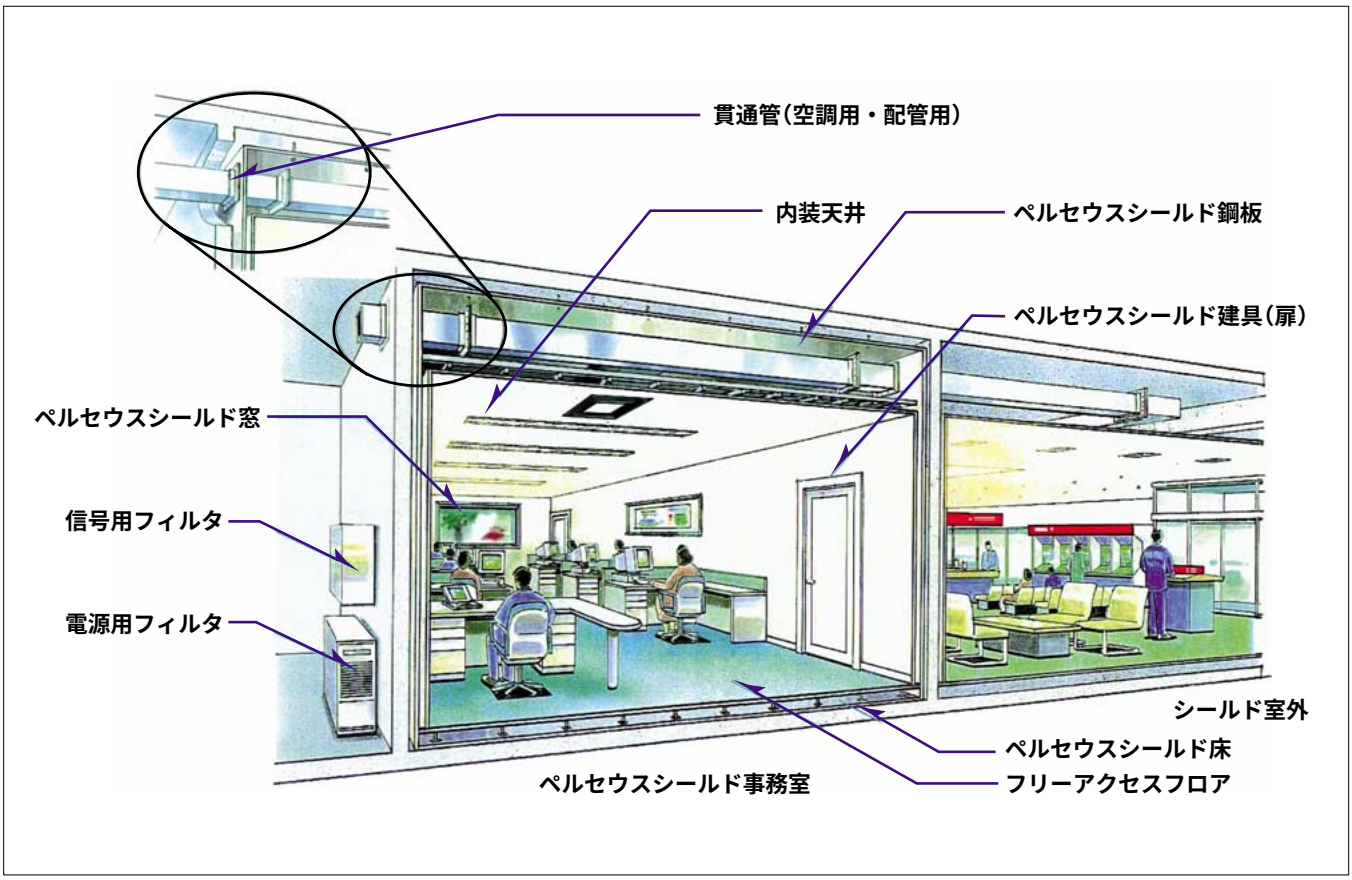
前者は既に欧米では実施されている“盗聴という脅威”に対する“テンペスト(注1)対策”であり，後者は“電波発射という脅威”に対する“イミュニティ(注2)対策”である。

三菱電機は，このような電磁波盗聴及び電磁波攻撃を防御する情報セキュリティシステムとして，三菱電磁シールドシステム“ペルセウスシールド(商標登録済み)”を構築した。

ペルセウスシールドは，的確な脅威の想定による最適な防御システムを設計構築し，かつ当社技術による設計・施工，性能評価と性能保証のできる一括請負責任施工であることを特長としている。

その特長は，ペルセウスシールド対象オフィスの立地条件を調査し，電磁波盗聴及び電磁波攻撃の脅威の接近を想定した適切な電磁シールド性能(例：周波数範囲100kHz～2GHzで40～100dB)の設定をし，さらに，そのオフィスが居室であることを前提に，性能に応じた居住性・利便性をコンセプトとしたシールドシステム構成と施工方法(新築，リフォームとも可)を提案し，提供することである。

(注1) テンペスト(TEMPEST)：電磁波漏洩(ろうえい)に伴う情報漏洩防止
(注2) イミュニティ(Immunity)：電磁波侵入に対する誤動作耐力



ペルセウスシールドの概要

ペルセウスシールド事務室は，通常の事務・執務の部屋としての居住性と防護性能を両立させる。情報セキュリティ担当者は安心して，オフィス員は対策を意識することなく，情報とコンピュータを保護できる。

*通信機製作所